

出張報告書

令和5年7月18日

市議会議長 松本 妙子 様

会 派 名 公明党

代表者氏名 南加代子

下記のとおり報告します。

記

- 1 目的 不登校対策について
介護ボランティア事業について
介護サポートポイント事業について
- 2 出張先 北海道苫小牧市、札幌市
- 3 出張期間 令和5年7月13日(木)～令和5年7月14日
- 4 出張者氏名 南加代子、米田貴志、岩崎雅秋、桑原佳一
友永修
- 5 てん末報告 別紙の通り

公明党（会派）行政視察レポート

報告者

友永 修

視察先	苫小牧市	テーマ	不登校対策について
日時	令和5年7月13日（木）13時00分～14時00分		
市政の課題の解決に向けて、参考になると思われることと考察について			
<p>.....</p> <p>苫小牧市においても不登校の児童生徒が増加傾向にあり、不登校対策プランを策定し取り組んできた。昨年より、学校適応指導教室を三か所に拡充するとともに、小学校1校、中学校1校を不登校対策モデル校に指定し、不登校支援員を配置して支援の充実に努めておられます。適応指導教室の現地見学をさせていただいたが、当日は2名の生徒がタブレットを活用し、自主学習されていた。1フロアに相談室やSSW、支援員の部屋もあり、連携がとりやすく工夫された配置となっていた。また、フリースクール等民間施設との連携を強化しており、市が認定したフリースクールでの相談・指導を受ける場合の登校日数等に関するガイドラインが策定されている。また、ギガスクール構想をより効率活用するため、自宅においてICT等を活用して学習活動を行った場合の登校日数等に関するガイドラインも策定されており、非常に参考になりました。本市でも活かせるような提案をしていきたい。</p> <p>.....</p>			

公明党(会派視察)行政視察レポート

委員氏名

南 加代子

視察先	苫小牧市	テーマ	介護ボランティア事業について
日時	令和 5年 7月 13日 (木) 14時 15分~15時 10分		
市政の課題の解決に向けて、参考になると思われることと考察について			
<p>.....</p> <p>苫小牧市では、介護保険法に規定する一般介護予防事業として、市民が介護支援ボランティア活動を通じて地域貢献することを奨励及び支援し、市民が社会参加を通じた介護予防を推進することを目的としボランティア活動に参加した実績に応じてポイントを付与する事業を開始されている。本市では介護予防事業のひとつとして、各町地域で活動される方が中心となり、いきいき100歳体操が行われている。しかし行政として奨励はあれど支援とまでは感じえない。あわせて、ボランティア人材の確保など、地域では課題と捉えているが今後益々、運営にも支障をきたす状況も垣間見える。苫小牧市では人材確保にあたって、ボランティアの年齢を介護保険料を納める40歳以上とし、地域のつながりと介護予防の推進に努めている。本市でも、市民が地域貢献することに対し、どう支援すべきかここに着眼点をおかねばならない時をむかえたと考える。その為には、ボランティアの活動内容に対価を示せることも必要であり、たとえば各介護事業所において、支援活動が行えるように理解を求めることも行政として必要ではないかそのような取り組みが進んでいけば、事業所の課題でもある人材不足も補え、その分、介護現場の質の向上も見込まれるのではないかと考える。今回の、視察先の事例にあるように、先ずは、介護保険法の第115条にてらし、行政として地域貢献のボランティア活動に対しポイント付与など、市民が楽しみ生きがいを持てるような介護予防に参加し、携わっていただける制度の創設を求めて参りたい。</p>			

公明党(会派視察)行政視察レポート

委員氏名

南 加代子

視察先	札幌市	テーマ	介護サポートポイント事業について
日時	令和 5年 7月14 日 (金) 10時 00分~11時 00分		
市政の課題の解決に向けて、参考になると思われることと考察について			
<p>札幌市では、介護予防事業としてボランティア従事者として登録した高齢者に対し、介護サポーターとして対象の介護施設などでボランティア活動を行った際、その活動に対してポイントを付与し、申請によりポイントに応じた現金を交付。年間上限 5000 ポイントとし、それに対し楽しみながら活動される方や、ポイント手帳が手渡されるので参加するたびに、スタンプが押印されることを励みとする高齢者の方もおられると伺った。介護予防の視点からは非常に重要なことで、一歩、ご自身の足で会場に向かうことも大切な取り組みにつながり、独居の方などもコミュニケーションを図ることで元気に過ごすことへとつながっているようだ。本市も、いきいき 100 歳体操・いきいきサロンと同様の予防事業を行い、地域住民が中心となり携わっているが地域からは担い手不足の声を多く聞く昨今である。札幌市では、この担い手不足の課題解決策として、社会福祉協議会が広報し、ボランティア活動に従事する方からの口コミなどを通し広まりが見えるようになってきたとのこと。また、介護施設への理解と協力、担い手の方と各施設での活動項目の掲載・活動先の見取り図などを掲載したボランティア活動内容一覧表を作成し、申請者とのマッチングを行っているこれは、社協への委託事業としているが市としっかりとした連携が見て取れた。また、活動途中思わぬ事故も考えられるが全てボランティア保険を活用されているので従事者としても安心である。</p> <p>本市においても、介護予防に取り組むことは、市民の健康寿命を延ばすこともでき敷いては保険料の抑制にもつながる施策になると考えられる。本市では、様々に社協及び地域包括支援センターに委託事業として介護予防も行っているが、今再び支援と奨励の在り方を考えてみるべきではないかと考え先進事例の取り組みを提案したい。</p>			